

### 地方創生をめぐる現状認識

- ◎ 人口減少の現状 ⇒ 2015年の総人口は、前回国勢調査(2010年)に比べ、96.3万人減少。平成27年の合計特殊出生率は1.45となり、上昇。年間出生数は100万5,677人、若干の増加。
- ◎ 東京一極集中の傾向 ⇒ 東京圏へ約12万人の転入増加（前年比約1万人増）、東京一極集中傾向が加速化。
- ◎ 地域経済の現状 ⇒ 雇用・所得環境の改善が続く一方、消費や生産の動向は地域間でばらつきがあり、東京圏とその他の地域との間には「稼ぐ力」の差。

## 人口減少と地域経済縮小の克服 / まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立 アベノミクスを浸透させるために、地方の「平均所得の向上」を実現する

### 「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定と改訂

来年度は「総合戦略」の中間年。基本目標やK P Iについても必要な見直しを行い、より効果的な対応を検討

#### ローカル・アベノミクスの一層の推進

##### ◎地域におけるしごと創出

地域資源を活用した企業化、地域商社による地域産品の販路拡大、日本版DMO、サービス業の生産性向上、事業承継の円滑化、「稼げるまちづくり」の推進、地域未来牽引事業への投資促進等

##### ◎地域における資産・人材の活用等

空き店舗、遊休農地、古民家等 遊休資産の活用、「土業」との連携、地方創生カレッジによる人材育成等

#### 地域特性に応じた政策の充実・強化

##### ◎東京圏への人口の転出が続いている地域

（施策例）地方の良質な「しごと」の創出、企業の地方拠点強化、地方創生インターンシップ、働き方改革、「生涯活躍のまち」の実現 等

##### ◎今後急速な社会減・自然減が予想される地域

（施策例）都市のコンパクト化、地域包括ケアシステムの推進、公共施設の集約化・複合化、小さな拠点の形成 等

#### 地域生活の魅力の見直し

##### ◎働き方改革を含めたライフスタイルの見つめ直し

地方の魅力、郷土への誇りや愛着を再発見し、分析・発信、歴史の発掘や教育等を通じた「郷土への誇り・愛着」の醸成、地域の文化の振興

#### 政策の企画・実行に当たっての基本方針

##### 1. 従来の方針の検証

##### 2. 創生に向けた政策5原則

自立性、将来性、地域性、直接性、結果重視の政策原則に基づく

##### 3. 国と地方の取組体制とPDCA整備

EBPM<sup>\*</sup>の考え方の下、データに基づく総合戦略、産官学金労言士、政策間、地域間連携の推進  
※Evidence-Based Policy Makingの略

#### 今後の政策の方向

##### 政策の基本目標

###### 【基本目標①】

地方における安定した雇用を創出する

###### 【基本目標②】

地方への新しいひとの流れをつくる

###### 【基本目標③】

若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

###### 【基本目標④】

時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

#### 地方創生の深化に向けた施策の推進（政策パッケージ）

##### 1. 地方にしごとをつくり、安心して働けるようにする

- (ア) 生産性の高い、活力に溢れた地域経済実現に向けた総合的取組
- (イ) 観光業を強化する地域における連携体制の構築
- (ウ) 農林水産業の成長産業化
- (エ) 地方への人材還流、地方での人材育成、地方の雇用対策

##### 2. 地方への新しいひとの流れをつくる

- (ア) 政府関係機関の地方移転
- (イ) 企業の地方拠点強化、企業等における地方採用・就労の拡大
- (ウ) 地方移住の推進
- (エ) 地方大学の振興等
- (オ) 地方創生インターンシップの推進

##### 3. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

- (ア) 少子化対策における「地域アプローチ」の推進
- (イ) 若い世代の経済的安定
- (ウ) 出産・子育て支援
- (エ) 地域の実情に即した「働き方改革」の推進  
（仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の実現等）

##### 4. 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

- (ア) まちづくり・地域連携
- (イ) 「小さな拠点」の形成（集落生活圏の維持）
- (ウ) 東京圏をはじめとした大都市圏の医療・介護問題・少子化問題への対応
- (エ) 住民が地域防災の担い手となる環境の確保
- (オ) ふるさとづくりの推進
- (カ) 健康寿命をのばし生涯現役で過ごせるまちづくりの推進
- (キ) 温室効果ガスの排出を削減する地域づくり

### 地方創生版・三本の矢

地方が「自助の精神」をもって取り組むことが重要であり、国としては、引き続き、意欲と熱意のある地域の取組を、情報、人材、財政の三つの側面から支援

#### 情報支援の矢

- ◎ 地域経済分析システム（RESAS<sup>\*</sup>）の普及促進

※Regional Economy (and) Society Analyzing Systemの略

#### 人材支援の矢

- ◎ 地方創生カレッジ
- ◎ 地方創生コンシェルジュ
- ◎ 地方創生人材支援制度

#### 財政支援の矢

- ◎ 地方創生推進交付金・拠点整備交付金
- ◎ 地方財政措置
- ◎ 税制（企業版ふるさと納税等）

# まち・ひと・しごと創生総合戦略（2016改訂版）—主なポイント—

アベノミクスを浸透させるため、地方の「平均所得の向上」を目指す

## ローカル・アベノミクス の一層の推進

- ・ 地域におけるしごと創出 (P19)
- ・ **【新】** 遊休資産（空き店舗、遊休農地、古民家等）の活用 (P19)

## 東京一極集中の是正

- （東京圏への転入超過は4年連続で拡大し、12万人程度）
- ・ **【新】** 地方大学の振興等 (P58)
  - ・ **【新】** 地方創生インターンシップの推進 (P62)
  - ・ 地方就業者の奨学金返還支援制度の全国展開 (P60)
  - ・ 「生涯活躍のまち」構想の実現 (P57)

## **【新】** ライフスタイルの 見つめ直し

- ・ 地方生活の魅力の再発見、発信 (P24)
- ・ 郷土への誇り・愛着の醸成 (P24)
- ・ 歴史の発掘、地域文化の振興 (P24)

## 地方創生の更なる深化に 向けた政策の推進 （政策パッケージ）

1. 地方にしごとをつくり、安心して働けるようにする (P26)
2. 地方への新しいひとの流れをつくる (P53)
3. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる (P63)
4. 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守る (P72)

**「地方創生版・三本の矢」** 「自助の精神」をもって意欲的に取り組む自治体を積極的に支援

### 情報支援の矢 (P89)

- ・ 地域経済分析システム (RESAS)

### 人材支援の矢 (P90)

- ・ 地方創生人材支援制度
- ・ 地方創生カレッジ

### 財政支援の矢 (P91)

- ・ 地方創生関係交付金
- ・ 企業版ふるさと納税